

未来を創る 思いを引き継ぎ、市民生活を守る。



# 山崎 ともゆき

七尾市議会  
2023報告①

## 市民生活を優先した予算を!!

選挙公約を優先し、市民負担が増えた事業も。

### 1. 物価高騰が続き、市民生活が厳しい中、新年度予算案は。。

- 硬質プラスチックごみが、「埋立て」ゴミから「有料化」へ
- 保育園の副食費無償化は「公約してない」と予算化されず
- パトリア駅側に2000万円の大型テレビ、効果は不透明

53回目の一般質問。新規事業の多くが「国や県の補助金」は一切無く、市民負担が増えた事業も。「市民生活を守る行政」への転換を、強く求める。

そのため、「中長期の財政計画」の策定について質問するも、曖昧な答弁を続ける。給食費を小中学校のみ無償化し、保育園の副食費無償化を先送りした理由を確認するも、「市長公約ではない」と一蹴。今こそ責任ある政策・改革の実行を。

議会だより

8日

【七尾市】6議員が一般質問。市側の主な答弁は次の通り。  
▽万行土地地区画の下水道事業受益者負担金問題。単年度の影響は100万円前後。下水道会計の収入は毎年40億円で、経営上の影響は大きくないが、受益者負担金は大事な財源の一つ。コスト削減を進めて健全な経営に努める。職員には法令に基づいた事務を徹底するよう指示した

令和5年(2023年)3月9日(木)北陸中日新聞 朝刊 16面

### 下水負担金 説明がない

山崎智之氏(灘会) 事務的ミ  
スで約1億円の下水道負担金を徴  
収できなくなった万行土地地区画  
整理で議会に詳細な説明がない。



三野建設部長  
徴収不能は8  
20筆、200  
人を見込む。

山崎氏 学校給食以外に保育園  
・こども園の副食費無償化は。  
茶谷市長 園によって額が違  
うなど整理が難しい面がある。

令和5年(2023年)3月9日(木)北国新聞 朝刊 22面

